

『事例で学ぶ損害保険コンプライアンス実践講座』

(財) 損害保険事業総合研究所

本講座は、損害保険会社におけるコンプライアンスの体制と実践のあり方について最新の情報をもとに提示するとともに、損害保険業務に関わる法令違反行為について事例研究方式で解説し、事前防止・事後対応に指針を示すこととします。なお、本講座のテキストは、金融庁の「保険会社に係る検査マニュアル」の策定に参加され、保険業法およびコンプライアンスにご造詣の深い中央大学法科大学院教授 野村修也先生の監修と公正取引委員会の外郭団体である財団法人公正取引協会のご校閲をいただいております。

1. 受講期間（毎月開講いたします。）

受講期間は3ヵ月とします。

※原則として毎月15日までのお申込受付分について翌月15日に開講いたします。

2. テキストの構成（テキストの主要内容については、後掲ご参照下さい。）

第1分冊『コンプライアンスとは何か』

第2分冊『損害保険業務におけるコンプライアンス』

第3分冊『保険ビッグバンとコンプライアンス』

別冊『損保コンプライアンス・チェックリスト』

3. 研修方法とスケジュール

(1) テキストおよび添削課題の送付

指定された宛先（研修担当者または受講者本人）へ送付します。

(2) 添削課題の提出

所定の締切日までに「株式会社 きんざい」宛にご提出下さい。

なお、会社によっては、研修窓口で添削課題を一括してとりまとめる場合がありますので提出先は貴社研修担当窓口でご確認下さい。

(3) 添削課題の採点および返却

提出された添削課題は添削・採点のうえ提出から約40日後に模範解答を添えて返却します。

《スケジュール例》

4月開講コースの場合

	第1分冊	第2分冊	第3分冊
テキスト・課題送付	4/15	5/15	6/15
課題提出締切日	5/15	6/15	7/15
添削済課題返却	6/20	7/20	8/20
成績報告	6/20	7/20	8/20

(修了証発送8月末予定)

※5月開講以降の配本スケジュールも上記に準じて設定されます。

(テキスト等の発送、課題の添削・返却、受講料の請求などは当研究所が事務を委託した「株式会社 きんざい」が行います。)

4. 修了者および優秀者の認定

修了資格を取得した方には通信講座の修了証を授与します。修了資格は全3回の添削課題すべてを提出期限内に提出し、かつ各回とも60点以上の評点を取得することが必要です。また、各回とも90点以上の評点を得た方を優秀者と認定いたします。

5. 受講料・テキスト代

1名につき12,600円(税込)

6. 受講申込方法

(1) 損害保険会社の社員の方

別紙「受講申込書(一括用)」に所要事項を記入のうえ、当研究所宛お申込み下さい。受講開始後、事務委託先の株式会社 きんざいより、会社宛に受講料を一括ご請求いたします。

(2) 上記以外の方(損害保険代理店等)

別紙「受講申込書(個人用)」に所要事項を記入のうえ郵便局から受講料を払い込み、郵便振替払込票兼受領証のコピーを貼付し、当研究所宛お申込み下さい。

7. 申込締切日

貴社研修担当部署から指定された社内締切日までにお申込み下さい。

※ご参考までに、当研究所の締切日はご希望開講月の前月15日です。

【テキストの主要内容のご案内】

『第1分冊 コンプライアンスとは何か』

I 損害保険会社の倫理とコンプライアンス

1. 損害保険会社の倫理とは何か
2. 行動規範の読み方
3. コンプライアンスとは何か

II 保険検査マニュアルとコンプライアンス体制の構築

1. 保険検査マニュアルとは何か
2. 金融サービス業におけるプリンシプル
3. 内部管理態勢・法令等遵守態勢の構築・実践
4. 保険募集管理態勢の構築・実践

III 反社会的勢力への対処

1. 反社会的勢力の現状
2. 反社会的勢力への対応策

IV 損害保険会社役職員が遵守すべき法令は何か

1. 保険業法
2. 保険法
3. 独占禁止法
4. 金融商品販売法・消費者契約法
5. 金融商品取引法
6. 知的財産権法
7. 法的資格に関する法律
8. 民法
9. 会社法
10. 刑法
11. 労働関係法

『第2分冊 損害保険業務におけるコンプライアンス』

I 損害保険の募集

1. 損害保険募集人の規制
2. 募集に関する行為規制

II 損害保険契約の締結

1. 契約上の問題点
2. 契約締結時の留意点

III 損害保険契約の保全

1. 損害保険契約の変更・継続・解約
2. 損害保険金の支払

IV 査定実務・示談代行上の留意点

V 代理店の管理

VI 顧客情報の管理

1. 本人以外からの照会
2. 顧客情報の流出
3. 個人情報の保護

『第3分冊 保険ビッグバンとコンプライアンス』

I 保険ビッグバンとコンプライアンスの側面

1. 業務の自由化・多様化とコンプライアンス
2. 公正なルール遵守の経営とは
3. グローバルスタンダードとコンプライアンス

II コーポレート・ガバナンス

III クレーム・訴訟リスクへの対応

1. 消費者保護意識の高まりと支店・支社の対応
2. 株主代表訴訟への対応
3. 裁判の進行と保険会社の対応
4. 民事訴訟法下の文書作成・管理

IV 投資信託の取扱いとコンプライアンス

V 資産運用規制等

VI 生命保険業務

VII 支店・支社の労務管理

VIII 広告・サービス

IX 高齢化社会・高度情報化社会とコンプライアンス

1. 介護サービスと損害保険 2. システムリスクへの対応

『別冊 損保コンプライアンス・チェックリスト』

※内容・項目につきましては、部分的に変更になる場合があります。